

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【公開番号】特開 2011-201050 (P2011-201050A)
 【公開日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-041
 【出願番号】特願 2010-68235 (P2010-68235)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 7 月 20 日 (2012.7.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 8 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 1 8 3】

駆動波形生成部 280D は、記録用波形の駆動信号と、テストパターン印字用波形の駆動信号とを選択的に生成する。各種波形データは予め ROM 275 に格納され、必要に応じて使用する波形データが選択的に出力される。本例に示すインクジェット記録装置 100 は、ヘッド 250 の各圧電アクチュエータ 258 に対して、共通の駆動電力波形信号を印加し、各圧電アクチュエータ 258 の吐出タイミングに応じて各圧電アクチュエータ 258 の個別電極に接続されたスイッチ素子（不図示）のオンオフを切り換えることで、各圧電アクチュエータ 258 に対応するノズル 251 からインクを吐出させる。

プリント制御部 280 には画像バッファメモリ 282 が備えられており、プリント制御部 280 における画像データ処理時に画像データやパラメータなどのデータが画像バッファメモリ 282 に一時的に格納される。なお、図 19 において画像バッファメモリ 282 はプリント制御部 280 に付随する態様で示されているが、画像メモリ 274 と兼用することも可能である。また、プリント制御部 280 とシステムコントローラ 272 とを統合して 1 つのプロセッサで構成する態様も可能である。